

平成30年度 吹田市地域医療推進懇談会の 主な取組について

健康医療部 地域医療推進室

1

1. 吹田市地域医療推進懇談会作業部会の設置

○設置主旨

在宅医療において重要な役割を果たす訪問看護等の課題として、在宅療養患者を支える看護職の連携促進と訪問看護の活性化等のための具体的対策について議論をするために設置。

○作業部会構成員

市内の公立・公的病院の看護部(5名)
(大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、済生会千里病院、済生会吹田病院)
吹田市介護保険事業者連絡会訪問看護部会(2名)、
大阪府訪問看護ステーション協会豊能ブロック教育ステーション(1名)、大阪府吹田保健所(1名)

○開催経過

- 第1回 課題の抽出と取組の現状、具体化する取組の選択について(H30.8.6)
- 第2回 具体化する取組の課題等について(H30.10.4)
- 第3回 今後について(H31.1.15)

2. 病院職員対象研修会の開催

- 病院完結型医療から地域完結型医療への転換が求められており、病院と在宅医療との更なる連携が必要とされている。
- 入院医療と在宅医療の切れ目ない継続的な医療連携を実現するための取組の一つとして、病院職員(医師・看護師等)の更なる在宅医療への現状理解と連携促進を目的とした研修会を実施。
- また、在宅医療推進においても、地域の医療機能の適切な分化・連携は重要な要素であることから、病院間の連携促進を目的とした情報交換の機会も設定。

2

1. 吹田市地域医療推進懇談会作業部会の報告

訪問看護の課題

- 訪問看護師の人材確保・育成
- 病院看護との円滑な連携体制の構築
- 訪問看護事業所間の連携やネットワーク構築

病棟看護師の課題

- 在宅医療や訪問看護に対する理解促進
- 地域での生活を見越した看護の提供
- 認定看護師や専門看護師等の地域での活躍連携の促進

作業部会での論点

人材確保	連携促進	理解促進	(1) 病院看護師の訪問看護事業所への出向のしくみ
	連携促進	理解促進	(2) 病院看護師の訪問看護事業所への短期間の 実地研修
	連携促進	理解促進	(3) 病院看護師と訪問看護事業所の連携促進のため の研修会等の企画
人材確保	連携促進	理解促進	(4) その他の諸課題

人材確保	訪問看護師の人材確保 (人材育成含む)	連携促進	病院看護師と訪問看護事業所 の連携促進	理解促進	病院看護師の訪問看護に対 する理解が深まる
------	------------------------	------	------------------------	------	--------------------------

(1) 病院看護師の訪問看護事業所への出向のしくみ	人材確保	連携促進	理解促進
(2) 病院看護師の訪問看護事業所への短期間の実地研修		連携促進	理解促進

出向のしくみについての主な意見

病院看護師の主なメリット

- 在宅医療や訪問看護の理解が深まり、退院支援の充実に繋がる。

訪問看護事業所の主なメリット

- 出向受け入れることで訪問看護事業所の人員が増加
- 病院と顔の見える関係ができることで連携が強化され、病院からの依頼増加に繋がれば利用者が増加し、経営の安定につながる
- 急性期の看護技術が学べることで、訪問看護師のスキルが向上

実施にあたっての主な課題

- 労働条件の調整(給与差額、福利厚生等)が難しい。また、訪問看護事業所の人材確保のニーズを一元的に把握するところがなく出向する訪問看護事業所の選定をどうするのか。
- 病院の看護体制を維持しながら人材を出すことが厳しい
- 訪問看護事業所における出向者に対する教育体制の確保が可能か
- 人材不足で困っている小規模事業所のための恒常的な人材確保になり得るか

実地研修についての主な意見

- 短期間の実地研修なら病院の看護師を受講させたい
- 実地研修に年に複数人受講させるだけでも、病院としてのメリットは十分にでてる
- 訪問看護ステーション協会の現場実習は2日間のみなので、もう少し長く実習したい
- 研修受け入れ先の訪問看護事業所に対する補助や負担軽減策があった方がいいのではないか、研修受け入れ先のキャパはあるか
- 訪問看護師にとっても、病院看護師から学ぶ機会になるし、病院との連携促進につながる

出向及び実地研修の今後について

出向におけるメリットは大きいですが、実際の実施については出向させる病院側の理解や体制上の調整の難しさ、また受入れる事業所側の意向やニーズの把握等も必要。また、訪問看護事業所全体の人材確保策としての位置づけは難しい。短期間の実地研修からのほうが取組みやすいか

- 病院全体での検討を後押すため、また訪問看護事業所にも効果や必要性を理解してもらうために、出向や実地研修のメリットなどについて、市内病院や訪問看護事業所などに広く報告する機会をつくる。
- 実地研修を新たに始める際の負担軽減と、研修の質の担保、またどのような研修かイメージをしやすくするために、ベーシックな実地研修プログラムを作成する。

5

(3) 病院看護師と訪問看護事業所の連携促進のための研修会等の企画

連携
促進

理解
促進

研修会等についての主な意見

- 訪問看護ステーション協会等が中心に実施している研修会は、企画・運営を少人数でしており、負担が大きい
- 病院看護師も企画から参画し、持ち回りで案件を考えるなどしてはどうか
- 研修会でなくても、病院看護師と訪問看護師がざっくばらんにディスカッションするような機会をもってはどうか
- 病院の研修会の一つに組み込むと、病院看護師も興味を持つ

研修会等の今後について

- 訪問看護事業所側の企画・運営の負担軽減と病院看護師の参加促進、また研修会の充実のために、病院看護師も企画から参画したり、研修だけでなくディスカッションや情報交換の機会を持つ方向で検討

コメンター：スターネットの会の担当者と市内5病院の地域連携担当の看護師

検討内容：在宅療養や訪問看護等の理解促進と看看連携や多職種連携促進のための研修会等(ディスカッションや情報交換等も含む)の企画や、参加者増加のための工夫等について

回数：年数回程度

6

(4) その他の諸課題について

人材
確保

連携
促進

理解
促進

訪問看護の人材確保(人材育成含む)

- 訪問看護を知ってもらうという地道な取り組みが、潜在看護師発掘のためには重要
- 公立公的病院の看護部では、新人看護師や臨床経験の浅い訪問看護師の研修受け入れの協力について相談に応じることは可能

連携の促進

病院の特定行為、認定、専門看護師の地域での活躍について

- 認定看護師等が、退院前カンファレンスや退院後訪問等をとおして、入院中の医療と看護の継続と専門的な知識や技術の支援ができるよう努めている。
- 認定看護師による病院のニーズ把握を始めており、将来的にはニーズに合わせた研修会等を企画していきたい。
- 地域の医療関係者のレベルアップのために、認定看護師等の活用依頼があれば、積極的に対応していきたい。

訪問看護事業所間の顔の見える関係作り、多職種連携促進のための研修会の企画

- 充実に向けて、病院の看護師とスターネットの会の担当で企画する研修会等を活用

7

2 病院職員対象研修会について

○対象：市内病院の医師・看護師・連携室職員 等

○定員：約100名（各病院から6、7名程度を想定）

○日時：平成31年3月16日（土）午後1時から午後4時30分まで

○場所：（地独）市立吹田市民病院 1階 講堂

○内容

- (1)「在宅医療について ～在宅医療と病院との円滑な医療連携の必要性～」
医療法人学縁会 おおさか往診クリニック 理事長 田村 学氏
- (2)「多職種による在宅療養生活の支援について ～事例をとおして～」
吹田市福祉部高齢福祉室職員
- (3)「在宅医療推進の観点からみた病病連携について」
吹田市健康医療部地域医療推進室職員
- (4)意見交換会（顔の見える関係づくりの機会）
病病連携促進のための病院間での情報交換 等

8